

研修カリキュラム

研修分野	保育実践			提案者名	株式会社保育のデザイン研究所		
ねらい	・子どもに対する理解を深め、保育者が主体的に様々な遊びと環境を通じた保育の展開を行うために必要な能力を身に付ける。						
研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン における該当内容	研修時間	講師	研修形態	使用教材	
			研修テーマ 全体の時間数				
保育における環境構成、子どもとの関わり方	子どもの安全を守ることは、最も重要であるが、危険を取り除こうとするあまり、遊びが制限されがちな面もある。安全に配慮しながら、豊かな遊びをめざすために、どのように環境を捉え、考えたらよいかを事例をふんだんに用いて解説する。	・安全に配慮しながら子どもが出会う環境を豊かにする1 ・安全に配慮しながら子どもが出会う環境を豊かにする2 ・安全に配慮しながら豊かな遊びをめざそう【乳児編】 ・安全に配慮しながら豊かな遊びをめざそう【幼児編】 ・自園の環境を「豊かな遊び」と「安全」という観点で見よう	2時04分14秒	現職名	保育のデザイン研究所 研究員	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材 (別添)
				氏名			
身体を使った遊び1	子どもの自由な動きが、いかに乳幼児に必要な運動につながっているかを理論的に伝え、運動遊びの指導を事例をあげて伝えている。	・領域「健康」と運動遊び ・多様な動きって何だろう ・運動遊びを指導する ―動きを引き出す環境― ・運動遊びを指導する ―子どもの自己決定を尊重する―	2時28分27秒	現職名	東京学芸大学 教授	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材
				氏名	吉田 伊津美		
身体を使った遊び2	わらべ歌の意義を知り、保育者自身が楽しみながら子どもたちと関わることをめざし、それぞれの年代にふさわしいわらべ歌を、数多く、紹介している。	・わらべうた ―こころと心をつなげるふれあい遊び― ・乳児向けのわらべうた ・1・2歳児向けのわらべうた ・3・4・5歳児向けのわらべうた	2時08分46秒	現職名	わらべうた実践家	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材
				氏名	久津摩 英子		
言葉・音楽を使った遊び1	乳幼児がどのように音や音楽に出会い、感じ、表現しているのかを、事例をあげて解説し、子どもたちの感性を育む音楽指導のあり方を提言している。	・乳幼児の表現についての見方・考え方について ・乳幼児の音感受の世界を覗いてみよう ・声の感受と表現 ・音を表現すること・音楽を表現すること ・感性を育む音楽表現のために	1時17分04秒	現職名	東京家政学院大学 副学長 教授	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材
				氏名	吉永 早苗		
言葉・音楽を使った遊び2	絵本の意義や魅力を伝え、保育の中で絵本と出会う意味や環境のあり方を解説している。	・保育における絵本 ・絵本の魅力 ・絵本と保育の環境 ・子どもを取り巻く社会と絵本	2時10分51秒	現職名	東京家政大学 准教授	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材
				氏名	野口 隆子		
物を使った遊び1	領域「表現」の意味を伝え、造形表現の事例を基に、ワークを通じて受講者自身が「感じること」「表現すること」の楽しさや大切さを感じられるように構成している。	・感じること(感覚・感性など)と表現 ・表現(主に造形表現)の理解 ・表現(主に造形表現)の援助 ・造形ワーク1 ―変化のプロセスを楽しもう― ・造形ワーク2 ―見たことのない生き物を作ろう―	2時01分27秒	現職名	白梅学園短期大学 教授	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材
				氏名	花原 幹夫		
物を使った遊び2	乳幼児期に自然と関わることの大切さを事例を出して伝え、保育者の援助のあり方を解説している。	・なぜ自然とかがわかることが大切なのか ・自然とのかかわりの実際 ・自然とのかかわりにおける子どもの経験内容 ・自然とのかかわりを支える保育者の援助	2時49分57秒	現職名	岐阜聖徳学園大学 教授	講義、演習 (eラーニング) +報告書	講師作成オリジナル教材
				氏名	松本 信吾		
			15時00分46秒				